

平成 29 年度

通所リハビリテーション 経営運営セミナー in 倉敷

～ 通所リハビリテーションの経営運営を考える ～

新設加算の効率的な取得で増収が見込める !?

平成 27 年度介護報酬改定において、リハマネジメント加算Ⅱや生活行為向上リハ実施加算、社会参加支援加算など、通所リハビリテーションにおける関わりの充実が評価されました。厚生労働省の試算では、これら新設された加算を効率的に取得することで、通所リハビリテーションの増収を見込んでいました¹⁾。

一方で、新たな加算には多くの書類や会議が必要となり、その効果的・効率的な運用に苦慮し、想定された増収に結びついていない施設が多いのが現実です。実際に通所リハビリテーション事業所の収支差率は 6.5%(H26)から 4.6%(H27)へと悪化しています²⁾。その要因として、各専門職の役割が明確ではなく、その業務内容の効率化を課題とする声も聞かれます。

そこで、本研修会では通所リハビリテーション運営状況の実態を明確にし、平成 30 年度の介護報酬改定を見据えた効率的な通所リハビリテーションの経営運営について、お伝えします。

通所リハビリテーションの概況調査結果²⁾

9 通所リハビリテーション(予防を含む)

| | | 平成22年度概況調査 | | 平成25年度概況調査 | | 平成28年度概況調査 | | | |
|-------------------|-------------------|------------|-------|------------|-------|------------|-------|----------|-------|
| | | 平成21年度決算 | | 平成24年度決算 | | 平成26年度決算 | | 平成27年度決算 | |
| | | 千円 | | 千円 | | 千円 | | 千円 | |
| I 介護事業収益 | (1)介護料収入 | 6,213 | | 6,641 | | 6,257 | | 6,170 | |
| | (2)保険外の利用料 | 264 | | 495 | | 413 | | 417 | |
| | (3)補助金収入 | 7 | | - | | - | | - | |
| | (4)介護報酬査定減 | -12 | | -2 | | -13 | | -17 | |
| | (5)介護職員処遇改善交付金 | 69 | | - | | - | | - | |
| II 介護事業費用 | (1)給与費 | 3,853 | 58.8% | 4,377 | 61.4% | 4,150 | 62.3% | 4,225 | 64.3% |
| | (2)減価償却費 | 314 | 4.8% | 371 | 5.2% | 237 | 3.6% | 231 | 3.5% |
| | (3)国庫補助金等特別積立金取崩額 | - | | - | | - | | - | |
| | (4)その他 | 1,864 | 28.5% | 2,007 | 28.1% | 1,786 | 26.8% | 1,771 | 26.9% |
| | うち委託費 | - | - | 434 | 6.1% | 421 | 6.3% | 435 | 6.6% |
| III 介護事業外収益 | (1)借入金補助金収入 | 6 | | - | | - | | - | |
| IV 介護事業外費用 | (1)借入金利息 | 299 | | 70 | | 49 | | 44 | |
| V 特別損失 | (1)本部費繰入 | 36 | | - | | - | | - | |
| 収入 ①= I + III | | 6,548 | | 7,134 | | 6,657 | | 6,571 | |
| 支出 ②= II + IV + V | | 6,365 | | 6,826 | | 6,222 | | 6,271 | |
| 差引 ③=①-② | | 182 | 2.8% | 308 | 4.3% | 436 | 6.5% | 300 | 4.6% |
| 法人税等 | | - | | 53 | | 46 | | 36 | |
| 法人税等差引 ④=③-法人税等 | | - | | 256 | | 390 | | 264 | |
| 施設数 | | 74 | | 281 | | 397 | | 397 | |

※ 比率は収入に対する割合

1) 平成 27 年 2 月 23 日 全国厚生労働関係部局会議資料

2) 厚生労働省平成 28 年度介護事業経営概況調査結果

【本研修会の内容】

| 時間 | 内容 |
|---------------|--|
| 12:30 - 12:55 | 受付 |
| 12:55 - 13:00 | オリエンテーション・主催者挨拶 |
| 13:00 - 13:30 | <p>調査報告：</p> <p>協会調査から見た 通所リハビリテーション運営状況の実態</p> <p>[講師]</p> <ul style="list-style-type: none"> 田原公彦：一般社団法人 全国デイ・ケア協会 経営運営委員会 委員長 医療法人社団三友会 いしかわ内科 <p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 当会理事施設（通所リハ）18 事業所、及び（通所介護）9 事業所の運営状況をもとに通所リハビリテーション運営の課題について考察する。 |
| 13:30 - 14:30 | <p>研究報告：</p> <p>介護報酬改定を来年に控え…通所リハの運営について</p> <p>[講師]</p> <ul style="list-style-type: none"> 江澤和彦：一般社団法人 全国デイ・ケア協会 理事 医療法人和香会 理事長 <p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度の介護報酬改定に向けて通所リハビリテーションの経営をどう考えていくのか、その課題と展望に触れる。 |
| 14:40 - 16:00 | <p>グループディスカッション（意見交換会）：</p> <p>通所リハビリテーション運営について</p> <p>[座長]</p> <ul style="list-style-type: none"> 井上 崇：一般社団法人 全国デイ・ケア協会 理事 介護老人保健施設 伸寿苑 施設長代理 |
| 16:00 - 16:10 | 閉会挨拶 |

* カリキュラムの詳細は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

同時開催 デイケア施設見学会【会員限定】

- ・ 場 所：倉敷スイートタウン
- ・ 時 間：10 時 00 分～12 時 00 分
- ・ 定 員：20 名（応募多数の場合には、各施設 1 名にて調整させて頂くことがあります。）

【本研修会の概要】

【日 時】平成 29 年 7 月 22 日（土）13:00～16:10（12:30 受付開始）

【会 場】倉敷スイートタウン 5 階スイートホール
〒710-0016 岡山県倉敷市中庄 3542 番 1

【対 象】通所リハビリテーションに従事する方

【定 員】60 名（先着順）

【受講料】全国デイ・ケア協会 会員 10,000 円（資料代・消費税込み）
全国デイ・ケア協会 非会員 25,000 円（資料代・消費税込み）

*ご連絡が無く欠席された場合には受講料のご返金は出来ません。

【申込方法】

- ① 右記入力フォームより必要事項をご入力ください。
（または、協会 HP よりお申し込みください）
- ② 入力後、仮受付メールを返信します。
メールが届かない場合には、お問い合わせください。
※ 携帯メール(@docomo.ne.jp 等)へは、配信できない可能性があります。
- ③ 仮受付メール配信後、1 週間以内に受講番号を返信します（受講確認メール）。
受講費のお振込に関しては、受講確認メールをご確認ください。

[お申し込み入力フォーム](#)



【申込期日】：平成 29 年 7 月 12 日（水）

【お問い合わせ先】 E-mail:kenshu@day-care.jp

【昼食・宿泊】 お手数ですが各自にてお願いいたします。

【会場へのアクセス】

【交通アクセス】

中庄駅南出口より西へ 徒歩約3分
倉敷駅より お車で約10分
倉敷ICより お車で約15分
早島ICより お車で約10分

